

## ◆ 3月号の予定 ◆

### 特集 「これからの農林統計の展望」

食料・農業・農村基本法が、25年ぶりに改正された。今般の改正は、前回改正から変化してきた農業の現状、日本と世界の政治経済状況、地球温暖化の影響やそれに伴う環境保護意識の高まりに加え、顕在化している食料安全保障などを反映したものとなっている。本特集では、こうした社会経済環境の変化に対して、今後、農林統計は、どのような役割を果たしていくのかを展望する。

#### 論考・論文

- ・農林水産統計の高度利用－現状と展開方向－
- ・農林統計マイクロデータ分析の展開：疑似実験デザインを中心に
- ・有林の森林資源・林業生産に関する統計の課題
- ・多様な情報を活用した農林統計－農林統計の再構築を考える－

#### 統計ウォッチング

- ・景気ウォッチャー調査で振り返る2024年の日本経済

#### 統計寸評

- ・令和7年国勢調査の円滑かつ確実な実施に向けて

#### 連載

- ・国際統計制度とは何か (26) 最終回 －新たな動向と今後の展望－
- 小中学校の統計・DS授業の実践事例 (シンフォニカ表彰：優秀事例)
- ・データ収集の仕方に対し批判的に考える授業の構成
- －美しいと思う長方形の傾向について考える教材の扱い－

#### 統計利活用コーナー

- ・統計データ分析コンペティション2024受賞論文 大学生・一般の部 総務大臣賞

#### 英国王立統計学会機関誌Significanceから

- ・Takao Maruyama、Vincent Charles 著  
“Retirement? What retirement? A tale of choice and necessity” 抄訳と解説

#### 書評

- ・依田高典 著  
『データサイエンスの経済学 調査・実験、因果推論・機械学習が拓く行動経済学』

#### ◎ 「特集」のテーマ (2024年10月号～2025年9月号)

- 2024年10月号 — 賃金動向の行方
- 11月号 — 統計科学の発展を担う行動計量学・計量心理学
- 12月号 — 産業連関表の新たな意義
- 2025年1月号 — 令和7年国勢調査への期待－実施年の幕開け－
- 2月号 — 社会保障分野のEBPM
- 3月号 — これからの農林統計の展望
- 4月号 — 国際貿易(1)貿易構造の変化と課題
- 5月号 — 国際貿易(2)経済・食料安全保障の観点
- 6月号 — わが国のコーポレートガバナンス
- 7月号 — 令和7年国勢調査の意義と役割
- 8月号 — 行政情報のマイクロデータ研究
- 9月号 — 税務情報のマイクロデータ分析

(注) 「特集」のテーマは、社会経済の動向により見直す場合もあります。

#### ◎ 連載

- ・国際統計制度とは何か  
…2021年1月号から隔月連載
- ・公的統計の利活用推進と21世紀の統計行政  
…2022年2月号から隔月  
2023年2月号まで連載
- ・高校における統計・データサイエンス教育の最前線  
…2021年7月号～毎月12月号まで  
2023年1月号～毎月7月号まで  
2024年3月号～  
2025年2月号まで連載
- ・2025 SNAの最前線  
…2023年4月号～2024年2月号まで隔月連載